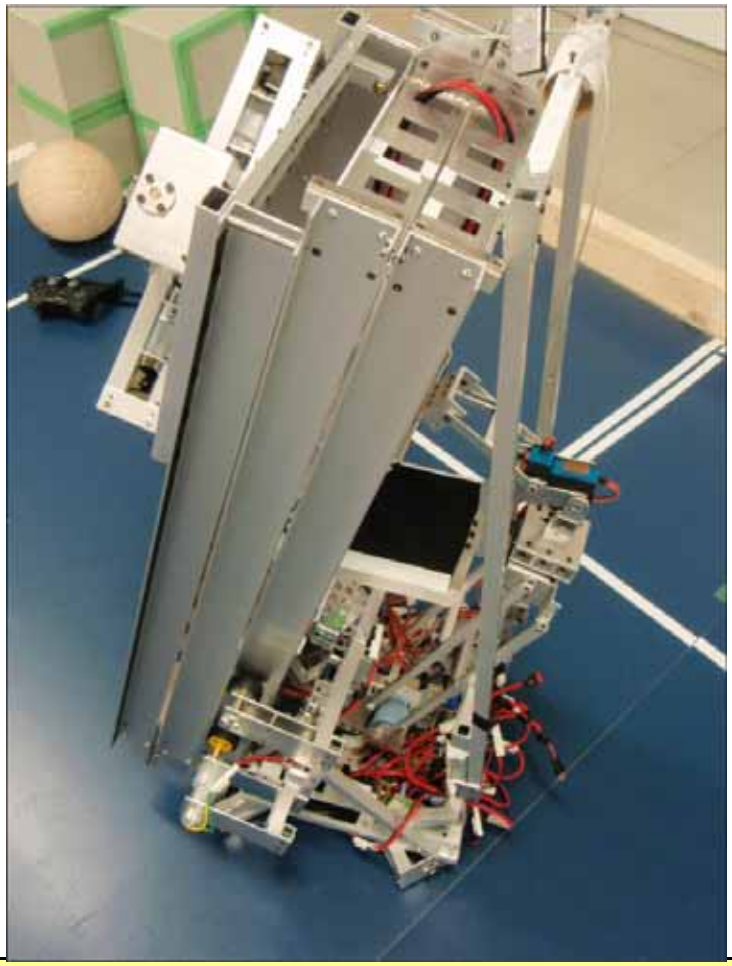
第4回八尾ロボットコンテスト　　2012.2.11　アリオ八尾

チーム名＆ロボット名	参加者　名簿
大阪工業大学B OITインティ	チーム代表者：中上浩佑(ナカウエ　コウスケ) チーム監督者：　　近藤隆路（コンドウ　タカミチ） 参加者：森大輝（モリ　タイキ）　　久保佐内（クボ　サナイ）　　小田雄大（オダ　タカヒロ）　板井謙太郎（イタイ　ケンタロウ）　　青木晋（アオキ　シン）　◎中上浩佑（ナカウエ　コウスケ）
ロボット名：運び屋ハイラム	



ロボット製作費	¥192,650
ロボットの大きさ	500x500x960mm
ロボットの重量	12.6　kgs

特　徴

機体が主に3つ親機、子機、アームで構成されている。
親機・子機はレールで繋がっていて、アームがレールを走りオブジェを運搬する。
親機・子機の車輪がオムニホイールで出来ているため、全方向に移動することができる。

製作時のエピソード　（苦労話・話題など）

レールそのものの重さが親機・子機・アームよりも重いため、レールを折り畳んだ状態でのバランスをとるための重心計算に苦労した。また親機・子機の車輪の軸を六角形にする際に通常のフライスで行ったため、太さを均一にしたり角度を正確に合わすことが難しかった。

私たちのチームは1回生しかいない。知識や経験がなく構造上強度に問題がある機体を造ったり、機構的に非効率なものを考えるなど、機体の考え直しや造り直しがあった。例えばレールを展開する際に谷ゾーンと接触をしてしまうため、子機の縮小やレールの寸法を何度も行ったことである。